

令和 6 年度 第 2 回久留米市地域公共交通会議 議事録

項目	内容
開催日時	令和 6 年 6 月 26 日 (水) 10 時 00 分～11 時 30 分
開催場所	久留米市庁舎 2 階 くるみホール
委員等の 出欠状況	<ul style="list-style-type: none"> ・委員 (26 名) 出席 19 名 (会場 17 名、Web2 名)【うち代理 2 名】、欠席 7 名 ・臨時委員 (6 名) 出席 4 名 (会場のみ)、欠席 2 名 ・オブザーバー委員 (1 名) 出席 1 名 (会場のみ・代理)
議事概要	<p>1 開 会</p> <p>2 副会長挨拶 (辰巳副会長) [事務局より]</p> <p>(1) 委員名簿及び席図をもって委員の紹介 (2) 委員、臨時委員 32 名中 23 名の出席をもって、設置要綱第 10 条第 2 項に基づき会議成立を報告 (3) 傍聴希望がなかったことを報告</p> <p>3 議 事</p> <p>(1) 議案第 2 号 <u>令和 5 年度久留米市地域公共交通会議事業報告及び決算について</u> [主な説明内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 5 年度事業「よりみちバスの運行」および「公共交通マップの作成」「久留米市地域公共交通網形成計画の修正」について説明。 ・よりみちバス利用者は、コロナ禍以前まで回復。 ・公共交通マップは、令和 6 年度版として、最新の情報に修正。 ・網形成計画修正は、国の方針に基づき実施。 ・令和 5 年度会計における歳入の主なものは、交通会議に関する久留米市からの負担金やよりみちバス運行に関する国庫補助金。歳出の主なものは、交通会議の開催に要した費用、公共交通マップや網形成計画の作成関係委託料等で、繰越額は発生していない。 ・監事による会計監査により、適切な執行を確認いただいた。

項目	内容
議事概要	<p>〔議案第2号の主な質疑応答〕</p> <p>(委員) 北野・城島両地域いずれもB日程の方が数が伸びているが、理由はあるのか。</p> <p>(事務局) 特定のバス停の利用が突出して伸びているというわけではなく、そもそもB日程の方に目的地とされるような行先が多かったのではないかと推測している。</p> <p>●議案第2号は議案通り承認する。</p> <p>(2) <u>議案第3号 令和6年度久留米市地域公共交通会議事業計画及び予算について</u></p> <p>〔主な説明内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度事業計画は、継続事業である「よりみちバスの運行」および「公共交通マップの作成」を説明。 ・国庫補助金の上限額減少、令和5年度実施した網形成計画修正業務の皆減に伴い、予算額としては減少。 <p>〔議案第3号の主な質疑応答〕</p> <p>(委員) 令和5年度と比較し、事業費の予算が少なくなっているが、詳しく教えてほしい。</p> <p>(事務局) 歳出の事業費の部分では、令和5年度は公共交通マップの作成に加え、網形成計画の修正業務があったが、令和6年度は、網形成計画業務がないため、公共交通マップ作成の100万円のみとなっている。</p> <p>●議案第3号は議案通り承認する。</p> <p>(3) <u>議案第4号 城島地域よりみちバス「インガット号」の事業計画変更(案)について</u></p> <p>〔主な説明内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年10月からダイヤ改正を予定。 ・バス停の見直し：現在要予約バス停として運行しているバス停付近には集落が多く存在しており、今後の利用が見込めることから、地元から通常バス停への変更の要望があった。 ・既に要予約バス停としてダイヤには組み込まれているので、他のバス停も含め運行時刻に変更はない。

項目	内容
	<p>〔議案第4号の主な質疑応答〕</p> <p>(委員) 計画の変更により、所要時間はどれくらい変わるのか。 (事務局) 配布している時刻表を参照すると、3分ほどである。 (委員) 今回要予約バス停から通常バス停化することのだが、利用実績は。 (事務局) 令和5年度は乗車はなかったが、降車は22件あった。令和4年度は降車が1件だったので増加している。</p> <p>●議案第4号は議案通り承認する。</p> <p>(4) 議案第5号 令和7年度久留米市地域公共交通計画（地域公共交通確保維持事業のうち地域内フィーダー系統関係）の策定について</p> <p>〔主な説明内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北野地域、城島地域の高齢化率および生活交通検討会で事前に協議した事業の目標を時点修正。 ・数値目標である1日あたりの年間平均利用者数の算出方法について、北野地域は、これまでの目標達成状況を考慮し、令和7年度は、直近3カ年の実績値の増加人数の平均を、前年度目標値に上乗せした55人とした。 ・3ページ目の項目4の「運行系統の概要及び運行予定者」、4ページ目の項目12の「地域の概要」は、表1と表5を添付。 ・承認いただければ、「北野地域、城島地域の計画について構成員からの合意を得た」旨記載し、国に提出・申請する。 ・なお、提出後に国からの指摘により、記載内容の変更が必要な場合は、対応を事務局にご一任いただくよう依頼。 <p>〔議案第5号の主な質疑応答〕</p> <p>(委員) 計画の記載で10月からの運行内容の変更はあるのか。 (事務局) 城島地域の「江上上」通常バス停化がある。 (委員) 3ページ目、目標を達成するために行う事業及びその実施主体の項目で、地域施設と連携した利用促進の取り組みの記載があるが、具体的な事例があれば教えてほしい。 (事務局) 先日の「地域生活交通検討会」では、地域で行われている講座の参加者の利用が増やせないかなどのご意見をいただいた。例えばそのような講座で少し時間をいただき、お話をさせていただくなどを検討中で、地域の方と話しながら進めたいと考えている。</p>

項目	内容
	<p>(委員) 通院や介護関係以外の需要はあるのか。また、タクシーの配車が難しい状況だときくが、今後の展望があれば教えてほしい。</p> <p>(事務局) 確かに生活支援交通なので、主な行先は病院やスーパーマーケットなど生活利便施設等であり、高齢者の足としての利用がメインである。ただ、一部ではあるが、小学校から利用に関する問い合わせもあっている。長期の休みや課外授業など、そういったものに使われるケースもあるのではと考えている。</p> <p>タクシー事業者の皆様には、大変な状況の中運行していただいている。利用者に対してもだが、事業者の皆様にも気持ちよく運行していただけるよう、協議しながら運行していきたいと思っている。</p> <p>(委員) 利用者が増えているとのことだが、乗れなかった人が出た場合、どのような対応をしているのか。</p> <p>(事務局) 利用者の増加は大変嬉しい反面、乗れない方が出てくるという問題は確かにある。よりみちバスは、追走便という仕組みがあり、乗れない方が出た場合、追走便という形で、普通車のタクシーが追いかけていく対応をとっている。</p> <p>●議案第5号は議案通り承認する。</p> <p>(5) <u>報告第1号 令和5年度議案第8号の書面決議結果について</u> <u>報告第2号 令和6年度議案第1号の書面決議結果について</u> [主な説明内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当会議の設置要綱第11条第2項に基づき、書面による決議を行った議案について、報告をするもの。 ・報告第1号は、令和6年3月に実施した、国の補助要件を満たすよう計画の修正を行うことについての書面決議。 ・報告第2号は、令和6年5月に実施した、北野地域のよりみちバス運行事業者の変更を行うことについての書面決議。 ・それぞれ、賛成多数で可決。 <p>[報告第1号及び第2号の主な質疑応答] なし</p> <p>(6) <u>報告第3号 久留米市地域公共交通網形成計画の達成状況について</u></p>

項目	内容
	<p>〔主な説明内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指標 2「市内の公共交通総乗降客数に占める中心拠点内の乗降客数の割合」は、コロナ後、人の移動が中心拠点内に集まってきている状況が見受けられ、結果として計画策定時と比べて増加し、数値としては目標値達成。 ・ノンステップバスの導入は、新たに 1 台導入されたことから、計画策定時や前年度から 1%強の増加となった。 ・公共交通の現状に対する満足度は、70 歳以上の満足度が減少傾向にある。明確な理由は不明だが、令和 5 年 8 月の調査結果であることから、公共交通機関のダイヤ改正や高齢者の自動車運転事故・免許返納、運転士不足などの交通に関する厳しい状況をメディアで見聞きしての影響があると推測。 ・全体の傾向として、指標 2 を除きコロナ禍の影響からは回復傾向にあるが、計画策定時の水準には戻っていないことが挙げられる。 ・いわゆる「2024 年問題」や運転士不足の問題が日常的にメディアに取り上げられるなど、公共交通をとりまく環境は依然として大変厳しい状況が続いている。 <p>〔報告第 3 号の主な質疑応答〕</p> <p>(委員) 事務局として、達成状況はこれぐらいでいいのか、まだ数値を上げるべきと考えているのか。また、どの指標の数値を上げたいと考えているのか教えてほしい。</p> <p>(事務局) 公共交通を利用していただくという視点でいくと、指標 1「市内主要鉄道駅の乗降客数」、生活支援交通を含む指標 6「地域公共交通の乗降客数」あたりになるかと思う。</p> <p>(委員) 車椅子の方がバスを利用する際、運転士さんは一人で対応しており大変だなと思った。大変だから手が少ないということもあるかと思う。バス事業者で何か対応を考えていることがあれば教えてほしい。</p> <p>鉄道駅に関して、エスカレーターは障害者だけでなく高齢者や妊婦も転倒の危険があるため、エレベーターの設置も検討できないか。また、降りる際に切符の対応が可能な改札の設置も検討してほしい。</p> <p>(委員) 鉄道駅に関するご意見については、各駅の利用状況等々に合わせて、今後ご意見を伺いながら進めさせていただきたいと思っているので、ご理解願いたい。</p> <p>(委員) ノンステップバスは、令和 4 年頃までは赤字により購</p>

項目	内容
	<p>入まで至らず、投資抑制をしていたが、何とか昨年度から導入ができるようになったので、今後は少しでも導入に向けて、投資していきたいと思っている。</p> <p>車いすの方の利用は、本当によく見ていただいており感謝申し上げます。乗務員の負担については、道路関係の部署と協議をしながら、バス停設置位置の道路でマウンドアップができるのであれば整備いただく、あるいはバス停もマウンドアップされた場所に設置するといった工夫をしながら進めていければと考えている。バスの仕組み上、現状においては、なかなかすぐに改善できるということは難しい部分もあるが、少しでもお客様がスムーズに乗降できるような取り組みを進められたらと思っている。</p> <p><その他：情報提供・意見交換></p> <p><u>①久留米市交通政策課（事務局）</u> <u>[主な説明内容]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス・鉄道展及び公共交通の利用状況ききとり ・高齢者向け路線バスの乗り方教室 ・「チャリフェス plus2024」での公共交通利用促進の取り組み ・令和6年4月からのシェアサイクル「チャリチャリ」開始 <p><u>②九州旅客鉄道株式会社 久留米鉄道事業本部</u> <u>部長 藤高 尚樹 氏</u> <u>[主な説明内容]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅の利活用 ・こどもぼうけんきっぷ ・新D&S かんぱち・いちろく <p><u>③西鉄バス久留米株式会社</u> <u>取締役営業本部長 下川 裕二 氏</u> <u>[主な説明内容]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「くるめ GoGo きっぷ」の発売 ・バス教室・こども50円バス ・西鉄久留米駅リニューアル ・バス停の新設 ・乗務員の採用強化

項目	内容
	<p>④西日本鉄道株式会社 鉄道事業本部計画部 計画課 課長 田代 幸輔 氏</p> <p>[主な説明内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グランド電車割 20 ・ サイクルトレインの運行 ・ 天神大牟田線・貝塚線開業 100 周年（くらの細道きっぷ等） <p>[主な意見交換]</p> <p>(委員) 高齢者に関して、認知症の増加が最大の課題と認識している。予防で一番大事なのは社会参加をし、外出し続けること。自動車の運転免許証を返納し、外出が減り、家に閉じこもり、認知症が進むというのが最悪のケースである。まず出かけてもらう目的はもちろんだが、出かけやすさ・わかりやすさが大事である。わかりやすさではさらに踏み込んで考えてほしい。最近ではエスカレーターで高齢者の死亡事故が発生した。買い物用の手押し車でエスカレーターに乗ってはいけないことを知らず、また、エレベーターに乗り換えるならばどう動けばよいかかわからないでいる。移動する目的が出てきた時に、わかりやすいご案内や告知を、ぜひもう1歩踏み込んでいただけるとありがたい。</p> <p>以前、日が暮れかけて、バス停に座っている方がいたので「このバス停はもうバスは来ませんよ」と声掛けしたことがある。その際、それはどこに書いているか尋ねられたことがある。もちろん時刻表があるが、それがわからないのが現状。</p> <p>駅でもそうだが、案内が非常に増えており、わかりにくく感じる。</p> <p>(委員) 我々事業者も今勉強しているところである。お客様に本当に必要な情報だけ、例えば門司港駅や小倉駅は、一番聞かれることを予めサインでご案内するといった取り組みを始めている。そのような取り組みから、わかりやすくお客様に本当に必要なサインをクローズアップするという心を心がけて進めていく必要があると考えている。</p> <p>(委員) バス停の表示の見せ方だが、福岡エリアの一部では、バス停のデジタル化を進めており、細かい紙での確認ではなく、例えば次のバスの出発時刻なども、デジタルで表示されるバス停も一部採用している。今後そう</p>

令和6年度 第2回久留米市地域公共交通会議 議事録

項目	内容
	<p>いった取組みも適宜進められればと考えている。</p> <p>(委員) 久留米市からの報告で、チャリチャリが導入されて、利用が伸びているとのことだが、自転車は特に路線バスと競合しやすいところで利用される側面がある。一方で公共交通との連携も図られる側面もあるが、市としては、自転車をラストワンマイルの移動手段として公共交通との連携が進めるというような、何かアイデアがあれば教えてほしい。</p> <p>(事務局) 導入後の実績が4月と5月の2か月で、まだ分析ができていないというのが現状。ただ、チャリチャリが使えるという状況にあることによって、バス停から目的地まで自転車で行ける、新しい移動手段ができたと考えている。したがって、鉄道やバスに関しても、利用促進ができるのではないかと考えている。</p> <p>4. 閉会</p>
署名	<p>令和6年度第2回久留米市地域公共交通会議の議事は、上記に相違ありません。</p> <p>令和 6 年 7 月 9 日</p> <p>久留米市地域公共交通会議 副会長 辰巳 浩</p>

久留米市地域公共交通会議 委員名簿

No.	委員区分 第4条	所 属	委員名	R6.6.26出欠			備考
				会場	Web	代理出席者	
1	第1号	久留米市	市長 原口 新五		×		会長
2	第2号	西鉄バス久留米株式会社	取締役営業本部長 下川 裕二	◎			
3	第2号	堀川バス株式会社	取締役統括部長 田中 智太郎		◎		
4	第2号	株式会社甘木観光バス	代表取締役社長 池野 栄次	◎			
5	第3号	九州旅客鉄道株式会社久留米鉄道事業部	部長 藤高 尚樹	◎			
6	第3号	西日本鉄道株式会社鉄道事業本部計画部	計画課長 田代 幸輔		◎		
7	第4号	一般社団法人福岡県バス協会	専務理事 中川原 達也		×		
8	第5号	福岡県筑後地区タクシー協会	会長 中川 恵司	◎			
9	第5号	久留米市タクシー協会	会長 篠倉 博光	◎			
10	第6号	久留米市校区まちづくり連絡協議会	幹事 山口 貴将	◎			監事
11	第6号	久留米男女平等推進ネットワーク	会長 永松 千枝	◎			[交代]
12	第6号	NPO法人ル・パト-	理事 佐々木 久美子	◎			
13	第6号	NPO法人高齢者快適生活づくり研究会	代表理事 吉永 美佐子	◎			
14	第6号	子育て支援団体 もーりえ	会員 久保 三恵子		×		
15	第7号	国土交通省九州運輸局福岡運輸支局	支局長 古賀 秀策	○		運輸企画専門官 山浦 淳輝	[交代]
16	第8号	西鉄グループバス労働組合	福岡本部執行委員長 筈島 健嗣	◎			
17	第9号	国土交通省福岡国道事務所	計画課長 木場 和俊		×		
18	第9号	福岡県久留米県土整備事務所	地域整備主幹 中島 伸二	◎			[交代]
19	第9号	久留米市都市建設部	部長 坂本 淳一	◎			
20	第10号	久留米警察署	交通第一課長 高橋 武稔	○		交通第一課 交通規制係長 高橋 大地	[交代]
21	第10号	うきは警察署	交通課長 麻生 浩二	◎			[交代]
22	第11号	福岡大学工学部	理事・工学部長 教授 辰巳 浩	◎			副会長
23	第11号	大分大学経済学部門	教授 大井 尚司		×		
24	第12号	福岡県企画・地域振興部交通政策課	課長補佐 三重野 直美		×		[交代]
25	第12号	久留米商工会議所中小企業相談所地域振興課	職員 古家 美恵子		×		監事
26	第12号	久留米市身体障害者福祉協会	役員 田村 美雪	◎			
27	臨時	城島地域生活交通検討会	座長 末次 広治	◎			
28	臨時	城島地域生活交通検討会	副座長 境 佳芳子	◎			
29	臨時	北野地域生活交通検討会	座長 高尾 忠男	◎			
30	臨時	北野地域生活交通検討会	委員 溝上 ゆり子	◎			[交代]
31	臨時	大刀洗町地域振興課	課長 村田 まみ		×		
32	臨時	みやき町事業部まちづくり課	課長 嬉野 透		×		[交代]
-	ワーカー	国土交通省九州運輸局交通政策部交通企画課	課長 鈴木 貴大	○		主査 柚井 達彦	

【◎出席、○代理、×欠席】